

令和6年度 北陸地方整備局 若手技術者賞 受賞者一覧

若手技術者【工事部門】 全11名

	技術者名	対象工事での役職	受注者名	工事名	事務所名
【現場代理人】					
1	片桐 啓吾	現場代理人	川中島建設（株）	飯田地区（左岸）堤防強化その1工事	千曲川河川事務所
2	小林 稔典	現場代理人	砺波工業（株）	令和5年度利賀川護岸整備他工事	利賀ダム工事事務所
3	大門 晴基	現場代理人	朝野工業（株）	R4猪谷地区防災他工事	富山河川国道事務所
4	達川 由一	現場代理人	（株）北野	令和4年度 浦川第9号砂防堰堤工事	松本砂防事務所
5	星野 真徳	現場代理人	（株）植木組	国道17号新浦佐大橋（渡河部）下部工事	長岡国道事務所
6	松村 真	現場代理人	日本道路（株） 北信越支店	R4水原維持管内舗装修繕工事	新潟国道事務所
7	山際 友	現場代理人	（株）吉光組	R4手取川田子島地区災害復旧工事	金沢河川国道事務所
8	渡辺 祐斗	現場代理人	（株）新潟藤田組	藏岡低水護岸その5工事	阿賀野川河川事務所
【監理技術者】					
9	井出 航路	監理技術者	（株）フクザワコーポレーション	屋敷地区斜面対策その6工事	湯沢砂防事務所
10	長谷川 輝	監理技術者	小柳建設（株）	R5三条出張所堤防外維持管理工事	信濃川下流河川事務所
11	山西 達也	監理技術者	射水建設興業（株）	庄川・太田護岸災害復旧工事	富山河川国道事務所

・敬称省略
・役職別、五十音順

若手技術者【業務部門】 全9名

	技術者名	対象業務での役職	受注者名	業務名	事務所名
【管理（主任）技術者等】					
1	對馬 美紗	主任技術者	朝日航洋（株）	令和4年度荒川上流域航空レーザ測量業務	飯豊山系砂防事務所
2	中園 大介	管理技術者	（株）建設技術研究所 北陸支社	令和5年度石川海岸土砂動態検討業務	金沢河川国道事務所
3	花田 良太	管理技術者	パシフィックコンサルタント（株） 北陸支社	令和5年度湯沢砂防事務所管内設計業務	湯沢砂防事務所
4	吉井 千晶	管理技術者	（株）建設技術研究所 北陸支社	R5阿賀野川水辺現地調査（鳥類）業務	阿賀野川河川事務所
【担当技術者】					
5	斎藤 香織	担当技術者	日本工営（株） 北陸事務所	令和5年度手取川河川整備効果検討業務	金沢河川国道事務所
6	竹田 尚史	担当技術者	日本工営（株） 北陸事務所	令和4・5年度富山管内道路防災定期点検業務	富山河川国道事務所
7	中野 岳	担当技術者	大日本ダイヤコンサルタント（株） 北陸支社	令和4・5年度管内河川構造物設計業務	富山河川国道事務所
8	山崎 史紀	担当技術者	開発技建（株）	令和5年度高田河川国道事務所管内道路行政マネジメント業務	高田河川国道事務所
9	和田 拓也	担当技術者	日本ミクニヤ（株）	海底地形測量及び解析・図化業務	新潟港湾空港技術調査事務所

・敬称省略
・五十音順

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

			番号	1
技 術 者	片桐 啓吾 (現場代理人 兼 監理技術者補佐)		事務所名	千曲川河川事務所
	川中島建設株式会社 長野県長野市篠ノ井布施高田955-1		工 期	(自) 令和4年9月21日 (至) 令和5年12月28日
			請負金額	661,749,000 円
工 事 名	飯田地区(左岸)堤防強化その1工事		工事場所	長野県上高井郡小布施町大字飯田地先
選定理由	<p>本工事は、千曲川左岸の小布施町飯田地先における堤防強化工事であり、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトとして川裏側の護岸工を施工したものである。</p> <p>限られたスペースを他工事に影響を与えることなく、且つ、最大限に有効利用するため、日々の進捗管理を行い、他工事と調整を行った。自社の建設ディレクター班を本工事に配置し、工事書類の作成補助やとりまとめを行うことにより、書類作成等の作業時間の軽減が図られて現場確認時間等が確保でき、安全管理や品質の向上が図られた。</p> <p>地元とは、工事によりによる情報共有や地域での清掃活動、イベントへの参加等、コミュニケーションを積極的に図ることで円滑な関係を築き、工期内に無事故で工事を完成させた。</p>			

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

			番号	2
技 術 者	小林 稜典 現場代理人		事務所名	利賀ダム工事事務所
	砺波工業株式会社 富山県砺波市中央町1番8号		工 期	(自) 令和5年4月3日 (至) 令和6年1月19日
			請負金額	290,400,000 円
工 事 名	令和5年度利賀川護岸整備他工事		工事場所	富山県南砺市利賀村岩渕地先、百瀬川地先
選定理由	<p>本工事は、南砺市利賀村岩渕地先と同百瀬川地先という離れた2つの工区において、それぞれ護岸工事と盛土工事という異なる工種の施工を行うものであった。</p> <p>当該技術者は、現場代理人として施工管理を行い、2つの工区それぞれでICT施工を採用した。無人航空機による空中写真測量を行い、3次元設計データを作成。マシンコントロール搭載バックハウにデータを読み込ませ、丁張りレスで掘削作業を進めた。これにより、丁張りの作業に掛かる人員の削減や時間短縮を実現し、工事の生産性向上を推進した。また、地元住民と積極的に交流して信頼関係を構築し、円滑に工事を進めた。</p>			

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

番号 3

技 術 者	大門 晴基 (現場代理人) 朝野工業株式会社 富山県魚津市本新町27番5号	事務所名	富山河川国道事務所
		工 期	(自) 令和5年4月3日 (至) 令和5年12月22日
		請負金額	145,805,000 円
工 事 名	R4猪谷地区防災他工事	工事場所	富山県富山市猪谷地先他
選定理由	<p>・本工事は、国道41号の富山・岐阜県境区間の現道直下約25mで、斜度約60度の法面保護コンクリートの剥落等が一部確認されたことから、法面の安全性を確保する目的で実施した道路防災工事である。</p> <p>・当該現場のすぐ脇には神通川が流れており、また、施工箇所の法面保護工の面積が大きいことから、現場全体を俯瞰、把握することが困難であったが、当該技術者(現場代理人)は、自主的にUAVを用いた3次元測量(点群データを取得)を行い、データは出来形管理や点間距離計測等に活用し作業の効率化に貢献した。</p> <p>・また、進捗状況の確認や危険ポイント周知など安全管理活動時の資料としても活用し現場内で共有することで、現場全体の意思疎通の円滑化を図った。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

番号 4

技 術 者	達川 由一 (現場代理人) 株式会社北野 長野県北安曇郡小谷村大字中小谷丙2071番地3	事務所名	松本砂防事務所
		工 期	(自) 令和5年4月18日 (至) 令和6年1月31日
		請負金額	225,588,000 円
工 事 名	令和4年度 浦川第9号砂防堰堤工事	工事場所	長野県北安曇郡小谷村 北小谷地先
選定理由	<p>本工事は、源頭部に稗田山崩れが存在する姫川水系浦川において、砂防堰堤を構築するものである。浦川は、土砂流出が激しく、土石流が到達する恐れのある危険性の高い現場であることから、安全対策を十分に考慮した施工計画を立案し施工することが求められた。</p> <p>また、本工事現場は、村道浦川橋の橋上にて行われる「おたり砂防ダム巡り」等のインフラツーリズムにおける稗田山崩れの現地紹介箇所からの視認性がよい現場である。</p> <p>当該技術者は、現場を統括する立場として、出来映えを重視した丁寧な施工を監理技術者とともに指揮したほか、マシンコントロール技術を用いて安全で効率的な施工を行うことにより、適切な安全対策と工程管理により無事故で工事を完成させた。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

番号	5
----	---

技 術 者	星野 真徳 (現場代理人) 株式会社植木組 新潟県長岡市坂之上町3丁目4番6号	事務所名	長岡国道事務所
		工 期	(自) 令和4年9月2日 (至) 令和6年3月15日
		請負金額	735,559,000 円
工 事 名	国道17号新浦佐大橋(渡河部)下部工事	工事場所	新潟県南魚沼市 浦佐地先
選定理由	<p>・本工事は、魚野川の非出水期の限られた期間内で橋台2基、橋脚1基、護岸工を施工する厳しい工程であったが、プレキャスト製品や、ICTの活用など、工程短縮の課題解決を積極的に行い、適切な工程管理により工期内に工事を完成させた。</p> <p>・魚野川の左右岸で点在する橋台、橋脚の計3基(左岸側A1橋台、右岸側A2橋台、P4橋脚)を同時に施工するため、出来形管理など施工管理全般について職員間の情報共有不足となることが課題であったが、遠隔臨場機器の活用で時間差なく効率的な情報共有が図られ、良好な出来形や施工管理の施工となった。</p> <p>・高所作業に対する昇降設備の工夫を行うなど安全管理を適切に行うとともに、漁協関係者など地域とのコミュニケーションを十分に行い、苦情なく無事故無災害で工事を完成させた。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

番号	6
----	---

技 術 者	松村 真 (現場代理人) 日本道路株式会社 北信越支店 新潟県新潟市中央区笹口2丁目12番7	事務所名	新潟国道事務所
		工 期	(自) 令和5年3月16日 (至) 令和5年11月28日
		請負金額	261,360,000 円
工 事 名	R4水原維持管内舗装修繕工事	工事場所	新潟県東蒲原郡阿賀町 ハツ田地先
選定理由	<p>・コンクリート舗装施工時の型枠設置により解放車線側の幅員が非常に厳しい状況であったが、昼夜を問わず、安全管理に対する指導的役割を果たすとともに、現場の安全管理状況を綿密に監督職員へ報告する姿は評価に値する。</p> <p>・栄山雨量規制区間の対応についても綿密に監督職員と打ち合わせを繰り返し、雨量規制時のUターン場を本工事エリア内に設ける対応や、郡山国道管内とは地整を超えての連携会議を積極的に実施し、イニシアチブを取りながら郡山国道管内の片側規制を一体で実施するなど、これら懸案事項に取り組む姿勢は評価できるものである。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

番号 7

技 術 者	山際 友 (現場代理人) 株式会社吉光組 石川県小松市長崎町甲118番地	事務所名	金沢河川国道事務所
		工 期	(自) 令和5年5月1日 (至) 令和6年3月29日
		請負金額	305,888,000 円
工 事 名	R4手取川田子島地区災害復旧工事	工事場所	石川県能美郡川北町田子島地先
選定理由	本工事は、災害復旧工事であり、早期の工事完成が必要であることから、瀬替えに必要な関係者との協議等をいち早く完了させ、工期を確保するとともに、3次元モデルを活用したICT技術により施工の効率化と品質の向上に努めた。更なる工期短縮を図るため、北陸地方整備局の河川工事で初めて3Dプリンターを導入して護岸工を施工した。また、現場見学会を開催して新技術の普及活動にも努めた。施工中は大量の湧水への対策が必要な現場であったが、その都度適切に対応し、全体工程に遅れを生じさせること無く、工期内に無事故で工事を完成させた。その他、地域行事への参加や担い手確保にも積極的に取り組み、建設業のイメージアップにも大きく貢献したことも高く評価する。		

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

番号 8

技 術 者	渡辺 祐斗 (現場代理人) 株式会社新潟藤田組 新潟県新潟市中央区白山浦2丁目645-1	事務所名	阿賀野川河川事務所
		工 期	(自) 令和4年3月16日 (至) 令和5年5月25日
		請負金額	304,656,000 円
工 事 名	藏岡低水護岸その5工事	工事場所	新潟県新潟市江南区大淵地先
選定理由	本工事は、背後地に新潟市中心部を抱える、阿賀野川左岸(新潟市江南区大淵地区)の水衝部(深掘れ箇所)対策として、低水護岸による河岸防護を行う工事である。 施工にあたり、レーザースキャナーやUAVを使用して現況地形計測や集積した資材の数量計測、計測データの処理、マシンガイダンスや出来形計測に使用する三次元設計データの作成等を行い施工管理の省力化と効率化を図った。 また、伝統工法の粗朶沈床の材料調達から製作～据付までの一連作業を自らのナレーションを入れた30分の動画に編集し、後輩技術者への教育資料を作成した。 さらに、園児を対象にしたイベント開催を発案・実行しメディア取材を通じて河川事業周知の一端を担った。		

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

番号 9

技 術 者	井出 航路 (監理技術者) 株式会社フクザワコーポレーション 長野県飯山市大字常磐1234	事務所名	湯沢砂防事務所
		工 期	(自) 令和5年4月10日 (至) 令和5年12月27日
		請負金額	222,222,000 円
工 事 名	屋敷地区斜面対策その6工事	工事場所	長野県下水内郡栄村大字堺地先
選定理由	本工事は、平成27年及び令和元年の台風豪雨で斜面崩落した中津川本川上流右岸斜面の斜面対策を行うもので、道路管理者である県の斜面対策と輻輳することから事業調整の上、工事を実施している。令和6年度の県の斜面対策着手に伴い、本工事で計画の斜面対策を前倒しで施工する必要が生じた。当該地域は日本有数の豪雪地帯で、降雪前の完成が必須であり施工範囲の大幅増に対し、安全且つ効率的な工程管理が求められた。 任意着手制度期日より約1ヶ月早く工事始期を早め、モノレールから索道への仮設の工法変更や、45°という急傾斜地での安全性を確保した測量や掘削方法など、安全且つ効率的な工程管理に取組み、本格的な降雪前に無事故で工事を完成させた。		

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

番号 10

技 術 者	長谷川 輝 (監理技術者) 小柳建設株式会社 新潟県三条市東三条一丁目21番5号	事務所名	信濃川下流河川事務所
		工 期	(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日
		請負金額	255,200,000 円
工 事 名	R5三条出張所堤防外維持管理工事	工事場所	信濃川下流河川事務所 三条出張所管内
選定理由	本工事は、信濃川下流河川事務所三条出張所管内の堤防除草、河川管理施設の維持管理工事の他、洪水被害発生時の内水排除作業及び出水時、地震発生時の緊急的な巡視を行うものである。 令和6年1月発生の能登半島地震に伴い、地震時巡視、被災施設の応急対応を迅速に対応するとともに珠洲市への照明車の派遣要請に対し、速やかに派遣体制を整え、要請に応えた。派遣先でも現地指示に従い、適切に対応した。 また、令和6年5月に予定している総合水防演習会場の整備では、指示事項に対して、現地状況や資材の需給状況等を踏まえた整備方法を提案し、冬季間の限られた工期内で迅速に無事故で完成させた。		

令和6年度 若手技術者賞【工事部門】

番号 11

技 術 者	山西 達也 (監理技術者) 射水建設興業株式会社 富山県高岡市本丸町67番地	事務所名	富山河川国道事務所
		工 期	(自) 令和4年3月10日 (至) 令和5年6月30日
		請負金額	529,452,000 円
工 事 名	庄川・太田護岸災害復旧工事	工事場所	富山県砺波市太田地先
選定理由	<p>庄川災害復旧工事は短い区間において7工事が同時に施工を行うことから、排水ポンプの同時稼働による周辺地域の井戸枯れや、庄川の夏の風物詩である鮎漁シーズンにおいて瀬替え工施工による濁水発生など、周辺環境への影響が懸念されたほか、7工事の工程重複に伴う作業人員や資機材の確保についても懸念された。</p> <p>当技術者は、監理技術者として出来形・品質管理全般に主体的に関わり、ICTを活用した高度な出来形管理の実現及び丁寧なコンクリート養生により品質を確保した。広い現場内で生コンの運転手が荷下ろし先に迷わないよう、作業配布図の作成・配布を行い、生コンの配車ミスを防止するとともに事故防止対策が図られた。また、所属する若手担当技術者にICT施工の施工記録を担当させ、技術力の向上を図り、担い手育成に貢献した。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【業務部門】

番号 1

技術者	對馬 美紗 (主任技術者) 朝日航洋株式会社 埼玉県川越市南台3-14-4	事務所名	飯豊山系砂防事務所
		工 期	(自) 令和4年8月19日 (至) 令和5年6月30日
		請負金額	53,295,000 円
業務名	令和4年度荒川上流域航空レーザ測量業務		
選定理由	<p>本業務は、令和4年8月3日からの豪雨災害による荒川流域の土砂移動状況を把握するため、出水直後に航空レーザ計測を実施したものである。豪雨による土砂動態を適切に把握するため、計測は出水後迅速に実施する必要があったが、受注者は業務契約締結後、速やかに計測体制を整えた上で測量計画や必要な手続きを円滑に行い、着手から20日余りでレーザ計測を実施した。</p> <p>また、得られた計測データは荒川流域の土砂動態把握のほか、災害復旧工事のための地形情報としても活用されており、災害対策のために必要な範囲の成果を優先的に納め、応急対応工事の早期着手に貢献しつつ、測量精度確保にも努め、積極的な姿勢で優れた成果を納めた。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【業務部門】

番号 2

技術者	中園 大介 (管理技術者) 株式会社建設技術研究所 北陸支社 新潟県新潟市中央区万代4丁目4番27号	事務所名	金沢河川国道事務所
		工 期	(自) 令和5年5月26日 (至) 令和6年3月15日
		請負金額	35,057,000 円
業務名	令和5年度石川海岸土砂動態検討業務		
選定理由	<p>手取川漂砂系の土砂動態の検討はこれまで多くの機関で検討されているが、漂砂の向きや量がそれぞれの検討で異なっており、解析結果に差異がある。また、石川海岸は手取川河口から離れているが早い段階から侵食が進行しており、侵食要因が明確となっていない状況であった。</p> <p>本業務では手取川からの供給土砂量の減少以外の侵食要因を特定して、その侵食要因や沖合流出等について土砂動態モデルによる再現検証を実施して、推定した侵食要因の妥当性を確認する等の検討を行い、国土技術政策総合研究所や地元大学の研究者との議論しながら定量的な土砂収支図を作成した。</p> <p>本業務で得られた成果は既往事業の効果や今後の事業計画を実施した場合の効果を定量的に評価しており今後の事業継続に大いに貢献するものである。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【業務部門】

番号	3
----	---

技 術 者	花田 良太 (管理技術者)	事務所名	湯沢砂防事務所
	パシフィックコンサルタンツ株式会社 北陸支社 新潟県新潟市中央区天神1丁目1番地	工 期	(自) 令和5年7月4日 (至) 令和6年3月25日
		請負金額	46,860,000 円
業 務 名	令和5年度湯沢砂防事務所管内設計業務		
選定理由	<p>佐梨川流域の砂防堰堤詳細設計においては、砂防堰堤計画地点には軟弱層が厚く堆積しており、砂防堰堤の基礎として十分な強度を得ることができない地盤であることが判明したことから、基礎処理工法の比較検討を重ね、その結果、複数の地盤改良工法を併用した施工方法を最適案としてとりまとめた。また、複数工法による地盤改良形状は複雑となるが、BIM/CIMを実施したことによる3次元化によって施工内容を理解しやすい成果とした。</p> <p>中津川流域の砂防堰堤詳細設計においては、現地調査等を実施して渓床の土砂堆積状況や渓流方向・斜面向き等の地形等から土砂移動特性を踏まえ、土石流を確実に捕捉できる堰堤位置・向き等の検討を重ねた。また、土石流シミュレーションを実施して、設計の妥当性を検証したうえで成果としてとりまとめた。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【業務部門】

番号	4
----	---

技 術 者	吉井 千晶 (管理技術者)	事務所名	阿賀野川河川事務所
	株式会社建設技術研究所 北陸支社 新潟県新潟市中央区万代4-4-27	工 期	(自) 令和5年4月4日 (至) 令和6年2月29日
		請負金額	16,016,000 円
業 務 名	R5阿賀野川水辺現地調査(鳥類)業務		
選定理由	<p>渡り期、繁殖期、越冬期など、それぞれ適切な時期に確実な調査を実施することが求められる。本業務では、確実な調査を実施するための実施体制を確保し、迅速な準備、情報収集を行うなど、工程管理の徹底を図った。また、経験豊富な技術者を配置し、社内照査の工夫、調査精度を高める提案、創意工夫を複数実施することで、精度の高い鳥類生息環境の把握が可能となった。水辺の国勢調査(鳥類)は10年ぶりの実施であった。前回と今回の調査結果のみから、阿賀野川の鳥類生息環境の変化を評価した場合、現状認識の捉え方に幅が生じることが懸念されたが、全国的傾向の分析を並行して行い、阿賀野川における変化が全国的なものか、阿賀野川特有のものか、比較し整理したことで、実情を捉えた調査結果の評価を得ることができた。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【業務部門】

番号 5

技術者	斎藤 香織 (担当技術者) 日本工営株式会社 北陸事務所 石川県金沢市駅西本町5丁目1番43号	事務所名	金沢河川国道事務所
		工 期	(自) 令和5年4月4日 (至) 令和6年3月29日
		請負金額	82,830,000 円
業務名	令和5年度手取川河川整備効果検討業務		
選定理由	<p>本業務は、手取川観測史上1位の流量を記録した令和4年8月豪雨の検証により、近年の気候変動を踏まえた手取川水系河川整備基本方針変更案を検討するものである。</p> <p>当該技術者は、過去の降雨等の蓄積データを含め、令和4年8月豪雨出水の検証を積極的に行い、気候変動の影響を考慮した治水計画の見直しに寄与した。また、流域治水の観点から急流河川である手取川における霞堤の機能や効果を検証するなど、十分な技術力と責任感を持って業務にあたり、優れた成果を収めた。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【業務部門】

番号 6

技術者	竹田 尚史 (担当技術者) 日本工営株式会社 北陸事務所 石川県金沢市駅西本町5丁目1番43号	事務所名	富山河川国道事務所
		工 期	(自) 令和4年9月27日 (至) 令和5年9月29日
		請負金額	55,176,000 円
業務名	令和4・5年度富山管内道路防災定期点検業務		
選定理由	<p>本業務では、令和5年7月の線状降水帯の大雨時に「緊急点検」を実施した。</p> <p>緊急点検では、国道8号と国道156号において、大雨による事前通行規制時間内に現地点検を行い、点検結果を出張所に報告したほか、応急復旧の対策検討、恒久対策までの維持管理検討、有識者への説明資料案の作成を行った。</p> <p>緊急点検では、過去の道路防災点検や被災履歴を把握した上で、被災状況を調査、原因の推定、応急対策・維持管理検討を行うなど高度な技術力、専門知識を活かし、的確かつ速やかな対応を行い、災害対応に寄与した優れた成果を収めた。</p>		

令和6年度 若手技術者賞【業務部門】

番号

7

技術者	中野 岳 (担当技術者) 大日本ダイヤコンサルタント株式会社 北陸支社 富山県富山市本町3-21	事務所名	富山河川国道事務所
		工 期	(自) 令和4年11月29日 (至) 令和6年2月29日
		請負金額	48,543,000 円
業務名	令和4・5年度管内河川構造物設計業務		
選定理由	小矢部川長江観測所で既往最大水位を観測した令和5年7月出水では、小矢部川直轄管理区間の多くで河川管理施設の被災が発生した。災害申請に向け、限られた期間で被災メカニズムの解明と復旧工法の検討など発注者の意図をくみ取りながら的確にとりまとめるため、被災直後から進んで現地調査に関わり災害復旧事業採択や早期工事発注に向け設計図等の作成作業に尽力した。また、常願寺川岩崎寺地先の護岸倒壊被害では、先輩技術者の指示のもと現地調査を中心に関わり被災メカニズムの解明など、限られた期間内での行う業務で高い技術力をもって取り組み期待した業務成果をまとめ上げた。		

令和6年度 若手技術者賞【業務部門】

番号

8

技術者	山崎 史紀 (担当技術者) 開発技建株式会社 新潟県新潟市中央区紫竹山七丁目13番16号	事務所名	高田河川国道事務所
		工 期	(自) 令和5年4月3日 (至) 令和6年3月29日
		請負金額	90,508,000 円
業務名	令和5年度 高田河川国道事務所管内道路行政マネジメント業務		
選定理由	本業務は、交通需要予測検討や整備効果分析検討、交通安全・渋滞対策等検討など高度な分析・解析能力が必要となる多岐にわたる道路施策について様々な視点から分析し、分かり易く資料をとりまとめる必要がある。当該担当技術者は、道路事業効果検討や冬期道路管理の効率化検討などを担当し、複数のビッグデータを用いて事業箇所周辺の土地利用の変遷や降雪時の速度特性などを分析し、限られた期限の中で定量的で視覚的にも分かり易い資料を作成するなど技術者としての専門的知識や技術力を十分に発揮して、高く評価出来る内容の業務成果をとりまとめた。		

令和6年度 若手技術者賞【業務部門】

番号 9

技 術 者	和田 拓也 (担当技術者) 日本ミクニヤ株式会社 神奈川県川崎市中原区小杉町一丁目403番地35	事務所名	新潟港湾空港技術調査事務所
		工 期	(自) 令和5年6月7日 (至) 令和6年1月26日
		請負金額	6,655,000 円
業 務 名	海底地形測量及び解析・図化業務		
選定理由	<p>本業務は、北陸管内の各港湾(新潟、富山、石川、福井)において当局が所有する海底地形探査装置及び港湾業務艇を用いた測量作業、取得した測量データの解析・図化を行い、また当局職員等に対する海底地形探査装置取扱・データ解析・図化の講習会を開催するものである。</p> <p>測量作業は7月から9月の3ヶ月間に計7回行うものであるが、課題は港湾業務艇、当局職員、測量範囲に含まれる工事・調査とのスケジュール調整、さらに天候を踏まえ測量を実施するため、高い業務実行力が求められた。</p> <p>担当技術者は、港湾業務艇の艤装を含めた準備作業及び測量作業の主要部分を担当し、タイトなスケジュールの中、円滑に業務を実施したものであり、良好な成果であったと評価できることから選定するものである。</p>		